

吹田東高校 46期生 2年生進路だより No.3

～Never Waste a Good Crisis (この危機を無駄にするな)～ 2020/05/15

分散登校ができるようになりました。でも、勉強のことや、進路のことなど様々な不安を抱えていると思います。今度、新しいクラスメート全員に会える日を楽しみにしながら、自分が今しかできないことに力を注いでみましょう。新しい自分を発見するかもしれません。

☆まず、行動しよう。

朝学校に行く時間と同じ時間に起きていますか？中にはとてもしっかりした生活を送っている人もいます。でも、ネットにはまって、そこから抜け出せない人もいないでしょうか？また、学校からの課題が一向にできていない人もいますよね。

そんな人にちょっとアドバイス。君たちが充実した生活のペースや勉強のペースを作るときに鍵となることは「具体的に動く」ことです。

どんなに優秀な人でもずっと調子がいいことはありません。でも結果を残す人たちはどんなに調子が悪くなくても、教科書を開き数学の問題を解いたり、音声を聴きながら単語を覚えたり、知らない単語をチェックして何回も口に出して定着させたりして、必ず自分がやった痕跡を残しています。つまり具体的に目に見える形で勉強しているのです。

逆にうまくいかない人の特徴の一つが「逃げてばかりいる」というのがあります。できない自分にいらいらしながら、なぜできないのだろう考えるだけ。このままではよくないなあ、と思いつつ実行に移せない。

そこで、休校中なんとなく生活のペースも勉強のペースもうまく作れていないなあ～と思っている人へアドバイス。

「色々考えずに具体的に身体を動かしましょう！」

何でもいいです！ すぐに！ そうすれば受験勉強中や社会に出てからでも絶対必要な勉強体力は確実に身につきます！

**朝起きて、着替えて、ご飯食べて、歯磨きしたら、
あれこれ考えず何でも良いからやり始めよう！**

☆Never Waste a Good Crisis. (この危機を無駄にするな。)

どこにも行けない。何もする気が起こらない。学校からの課題をやろうとしてもよくわからないから放り投げている。ただ答えを写しているだけ…。そんなあなたに、「Never Waste a Good Crisis (この危機を無駄にするな)」という言葉を送ります。これはウィンストン・チャーチ

ル(第2次世界大戦時の英国の首相)のことばです。

今、初めて自分で勉強をしていくことの難しさを実感しているのではないのでしょうか。でも、この期間にやろうと思えばできることがたくさんあります。自分で計画を立てる。本を読む。よくわからなかったところについて参考書を使って自分で理解する。英単語、漢字、古文の意味などを覚える。これらは、通常の授業があったとき、なんとなく日々忙しく感じて後回しにしていたこと、またできなかったことではありませんか。こういうことをこの休校期間にやってみましょう。休校明けには、できるようになった自分がいます。そして、この期間にやれたことが、休校が明けたときの自分の勉強方法により影響を与えてくれます。なぜなら、あなたがこの期間にできたことが、学習における自信につながっていくからです。「できない」と思わず、「できるんだ」と信じて、とにかくやってみましょう。

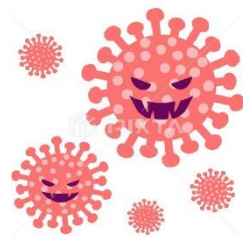
☆ニュースを見えていますか。

毎日、コロナ関係のニュースが流れてきますが、みなさんは見えていますか。この機会に日本のことを知るだけでなく、世界にも関心を向けてほしいと思います。諸外国がとった新型コロナウイルス対策と日本の対策とのちがい。経済のこと。新型コロナウイルスとはどんなウイルス？医療従事者の仕事と役割。これは特に看護医療系志望の人に知っておいてもらいたいし、自分が将来その職業に本当に就きたいと思っているか、改めて考えてほしいところです。

この歴史に残るパンデミックを経験したみんなは、休校期間中にどんなことを感じましたか？それぞれがこの機会にじっくり考えてほしいと思います。

日本赤十字社から、このパンデミックが終わった後のことについて、動画がでています。

人から人へと広まっていく、もしかしたら、ウイルスよりも恐ろしいものとは？そして、わたしたちができることとは？新型コロナウイルス感染症から、体だけではなく、心を守り、社会を守るための、心構えを伝える絵本アニメーションです。興味のある人は見てください。



【日本赤十字社】「ウイルスの次にやってくるもの」

監修：日本赤十字社災害医療統括監 丸山嘉一、諏訪赤十字病院 臨床心理課長 森光玲雄

<https://t.co/QYJmVq53Is> @YouTube

☆質問や相談がある人は、学校に連絡してください。